

単元名：はしのうえのおおかみ

「しんせつにすること」

(全1時間扱い中 第1時)

授業日時 2021年11月15日(月)第3校時

授業学級 1年東組

授業会場 1年東組教室

授業者

指導者

(1) 主眼 (授業の手立て&ねらい)

(○○の子ども達が) ○○の場面で, ○○を通して, ○○を□□することができる/できるようになる。

はしのうえのおおかみを聞いて, おおかみやほかの登場人物の気持ちを考える場面で, 場面把握をしながら, オオカミの心情の変化を考える活動を通して, 親切な行動がみんなを嬉しい気持ちにさせることに気づき, 身近な人に思いやりの心をもって接しようという気持ちをもつことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 優しくされたときの気持ちを振り返る	「うれしい」 「ぼかぼかする」 「自分もやさしい気持ちになる」	○優しくされるとどんな気持ちになるか問いかける 「優しくされるとどんな気持ちになりますか？」 ※出た意見を板書する	3分
	2. 「はしのうえのおおかみ」をきく	「おおかみは意地悪だ」 「うさぎたちがかわいそうだ」 「くまは優しいな」	○平均台の写真を見て, 一本橋のイメージをつかむ 【今日はこんな橋の場面の話を想像してね】 ○範読をする ※おおかみを主体に気持ちを考えていくことに触れる	5分
	【学習問題】 おおかみやほかの登場人物の気持ちを考えよう			
	【学習課題】 場面把握をしながら, おおかみの心情の変化を考えよう。			

展開	3. 場面把握をしながら、うさぎに意地悪をした時のおおかみのきもちを考える	「いいきもち」 「おもしろい」	○うさぎをおいかえしたときのおおかみの気持ちを問いかける 【うさぎたちに意地悪をしたおおかみは、どんなきもちだったのかいてあったかな?】 ※問いをスライドに投影する ※出てきた意見を板書する	8分
	4. おおかみが、くまに意地悪をしなかった理由を考える	「くまのほうがおおきかったから」 「びっくりしたから」 「くまのほうが強そうだから」 「くまが橋を通してくれた」	○意地悪をしなかった理由を問いかける 【うさぎやきつねには意地悪をしたのに、どうしてくまには意地悪をしなかったのかな?】 ※つぶやきをひろう ※今後の展開につなげていく 【このあとどうなったのかな?】	10分
	5. くまが橋を通してくれた時のおおかみの気持ちを考える	「うれしかった」 「おどろいた」	【くまが橋を渡らせてくれた時、おおかみはどんな気持ちだったのかな?】 ※つぶやき, 発表して出たものを板書する	15分
	6. くまの後ろ姿を見送っているおおかみの気持ちを考える	「自分が意地悪したことを振り返っていた」 「いじわるしたことを後悔していた」	【くまのうしろすがたを、おおかみは、どんな気持ちで見送っていたのかな?】 ※ワークシート	
終末	7. うさぎに橋を通してあげたときのオオカミの気持ちを考える	「いいきもち」 「いじわるはやめよう」	【うさぎに橋を渡らせてあげたおおかみは、どんな気持ちだったかな?】	5分

【本時の評価（評価する対象）】
 親切な行動がみんなを嬉しい気持ちにさせることに気づき、身近な人に思いやりの心をもって接しようという気持ちをもつことができる。